

「ツキノワグマの出没に関する注意報」の発表について

令和 7 年 4 月 18 日

岩手県環境生活部自然保護課

県では、ツキノワグマの出没に対する注意を喚起し被害の未然防止を図るため、岩手県全域に「ツキノワグマの出没に関する注意報」を発表します。

クマの人里等への出没は、堅果類の結実状況、特にブナの豊凶と関係が深いことが経験的に明らかになっています。また、ブナが豊作又は並作の年は、メスのクマの栄養状態がよく、妊娠に適した状況となるため、翌年春に生まれる子グマの数が多いという報告もあります。令和6年度に実施された調査においてブナの結実が並作となったことから、令和7年度はクマの出没に注意する必要があります。

これからの時期は山菜採りやレジャー等で山林に入る機会が多くなるため、予期せずクマと遭遇し、被害に遭う危険性が高くなります。入山する際は下記の事項に留意し、十分な対策を講じるようお願いします。

また、近年は人里での被害も多く発生しています。クマを寄せ付けない対策を積極的に行い、被害を未然に防ぎましょう。

○ 山林内（クマの生息域）における対策

- ・ 事前に入山地域の出没情報や被害情報を確認する。
- ・ 複数人で行動し、明け方、夕方の入山は避ける。
- ・ 鈴やラジオ等の音の鳴るグッズを常に鳴らして存在をアピールする。
- ・ 食べ残し等、エサになるものを放置しない。
- ・ 撃退グッズ（撃退スプレー、鉈等）を携帯する。
- ・ クマの糞や足跡を見たら引き返す。

○ 人里における対策

- ・ 電気柵を設置し、クマを寄せ付けない対策をする。
- ・ 庭先果樹は適期が来たらなるべく速やかに収穫する。
- ・ 農地周辺のやぶを刈り払い、見通しの良い環境を整備する。
- ・ 廃棄野菜や生ごみ、コンポストの管理を適切に行う。
- ・ 屋外やクマが侵入できる納屋に果物、穀物、ペットフード等を保管しない。

○ クマに遭遇した場合の対策

- ・ 背を向けて走って逃げない。
- ・ 目を離さず静かにゆっくり後退する。
- ・ 親子グマに注意する。
- ・ 風向きに注意して撃退スプレーを使う。
- ・ クマが攻撃してきたら両腕で顔や頭をカバーし、体を丸くして地面に伏せて防御する。